

改札



大阪空港駅は、国内線の基幹空港として、大阪の空の玄関口となる大阪国際空港（伊丹空港）ターミナルビルに直結する唯一の鉄道駅。多くの旅行者、ビジネス客を中心に利用されている主要駅のひとつである。

女性トイレ 多機能トイレ



車いす使用者やオストメイトなどさまざまな使用者に対応できる設備を完備。収納式多目的シートも設置。大便器は、清掃性に配慮した壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用した。

女性トイレ パウダーコーナー



隣の人の視線が気にならないように個別鏡を採用したスタンディングタイプのパウダーコーナー。近づきやすいようにせり出したタイプの鏡は、鏡裏の間接照明により、空間に落ち着きを与えている。

トイレ入口



トイレ入口の壁には、遠くからでもひと目で男女トイレの位置や区別がわかりやすいように、明快に色分けされた大きなピクトサインを設けている。男女トイレそれぞれに多機能トイレを設置している。

女性トイレ 洗面コーナー



洗面器の水栓金具は、ノンタッチ式の自動水栓を採用。衛生的で、水の止め忘れもない。1ヶ所の洗面器は、お子さまが使いやすいうに、低めの高さに設置している。

女性トイレ 大便器ブース



すべての大便器を洋式化し、ウォシュレットを導入。男女トイレともにすべての大便器ブースにベビーチェア、L型手すりを設置。大便器は異物が詰まってもすぐに取り除くことができる掃除口付大便器を採用。

女性トイレ ひろびろブース



多機能トイレの利用集中を避ける機能分散の工夫として、男女トイレ共にお子さま連れに配慮したベビーカーごと入室できるひろびろブースを設置。ベビーチェア、ベビーシート、フィッティングボードを完備。

改修前



改修前の大便器は和式便器中心、小便器は床置小便器が採用されており、床面が汚れやすい環境だった。

建築概要

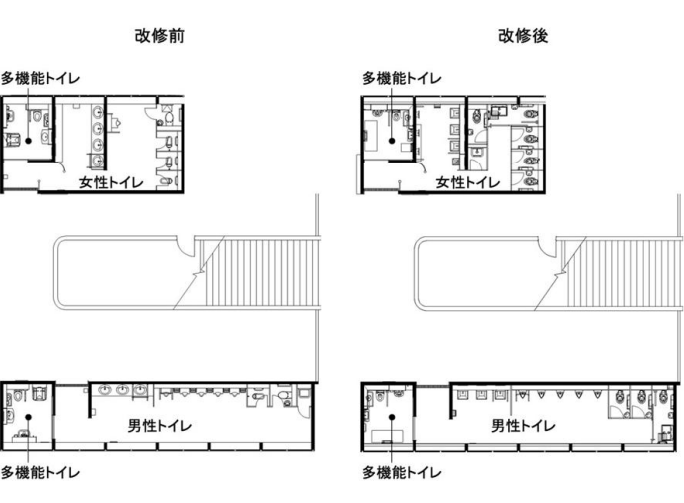
名 称	大阪モノレール 大阪空港駅
所 在 地	大阪府豊中市蛍池西町3丁目551他
施 主	大阪高速鉄道株式会社
設 計	株式会社かんこう
設 計 協 力	株式会社エム・ケイ設計事務所
施 工	富国建設株式会社
竣 工 年 月	（改修）2017年10月

男性トイレ 小便器コーナー



淡いナチュラルカラーの木目調パネルを使用した温かみのある空間。きれいで除菌水機能を搭載した低リップタイプの壁掛小便器は、便器を取り外すことなく排水管の掃除（尿石除去）が可能な掃除口付きタイプ。

トイレ図面



水まわりの特長

＜改修の経緯＞
「大阪モノレール 大阪空港駅」は、1997（平成9）年に開業。国内線の基幹空港である大阪国際空港（伊丹空港）ターミナルビルに直結する唯一の鉄道駅であり、1日の乗降客数は約15,000人（2016年度）と、旅行者やビジネス客を中心に利用される主要駅のひとつである。大阪モノレールでは、老朽化への対応と最新の法律・条例への適合を図るとともに、ワンランク上のお客さまサービスを目的に、全駅を対象に順次、トイレのリニューアルを推進・実施。今回の改修はその一環となる。

＜トイレの特長＞
快適、保守性向上をコンセプトにした、トイレリニューアルを実施。すべての大便器を洋式化し、ウォシュレットを導入。お子さま連れ配慮として、男女トイレともにベビーチェアを標準設置。さらに、ベビーカーごと入れるひろびろブースを設け、ベビーシート、ベビーチェア、フィッティングボードを設置している。器具はメンテナンス性を重要視し、小便器、大便器共に掃除口付器具を採用。多機能トイレは、バリアフリーを意識した器具を選択。また、トイレ入口のサインはわかりやすく、迷わないように大型化を図った。内装は、流行に左右されない落ち着いた木目調の明るいイメージ。改修後のトイレは、「きれいでさらに使いやすくなった」とお客さまからも好評を博している。